

「ヴァイオリン」
郷古 廉

「新世界より」では
郷古のコンサートマスター、
佐藤のチェロトップが実現!!

「チェロ」
佐藤 晴真

Best of Orchestra 2023

飯森範親×若き巨匠の新世界

ドヴォルザーク：「謝肉祭」序曲 op.92

ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための
二重協奏曲 イ短調 op.102

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95
「新世界より」

【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

2023

10.29 (日) 14:00開演 (13:00開場) ザ・シンフォニーホール
主催：日本センチュリー交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (休曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

■ センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 (平日 10:00~18:00) <https://www.century-orchestra.jp/ticket/>

■ E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (iPhoneコン・携帯)

■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード:53478]

■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード:240-079]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

【指揮】飯森範親

Best of Orchestra 2023

飯森範親×若き巨匠の新世界

2023年10月の日本センチュリー交響楽団「ベスト・オブ・オーケストラ」では、この4月にNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任した郷古 廉&ミュンヘン国際コンクールチェロ部門で優勝した佐藤晴真を、ブラームス〈ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲〉のソリストに招く。それだけにとどまらず、彼らはそれぞれコンサートマスターと首席奏者として、ドヴォルザーク〈交響曲 第9番「新世界より」〉にも参加！日本を代表する二人の若きリーダーの牽引ぶりにも注目だ。

スラヴの郷愁をいざなうドヴォルザークとブラームスによるこのプログラムは、弦楽器の魅力を存分に堪能させてくれる。ザ・シンフォニー・ホール of 音響を知り尽くした首席指揮者の飯森範親&日本センチュリー響、そして世界トップクラスの二人がどのようなコラボレーションを繰り広げてくれるか、期待が高まる。

文・道下京子



©山岸 伸

[指揮] 飯森範親

Norichika Iimori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以來、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、22年より同楽団桂冠指揮者。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。23年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。

<http://iimori-norichika.com/>



©Hisao Suzuki

[ヴァイオリン] 郷古 廉

Sunao Goko, Violin

2013年8月ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとり。1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2007年12月のデビュー以来、各地のオーケストラと共演。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、バヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。ジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。2023年4月よりNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任。



©TOMOKO HIDAKI

[チェロ] 佐藤晴真

Haruma Sato, Cello

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して一躍国際的に注目を集めた。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞。第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など受賞多数。国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。20年、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『TheSenses〜ブラームス作品集〜』、今春には待望の3rdアルバム『歌の翼に〜メンデルスゾーン作品集』をリリースした。齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞、日本製鉄音楽賞受賞。文化庁長官表彰(国際芸術部門)。ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクション貸与のE. ロッカ1903年。

日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニー・ホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



©s.yamamoto